

緑 中 通 信

～自分が楽しく、みんなも楽しく～

発行責任者：郡山市立緑ヶ丘中学校長 柳沼久裕

引き続きコロナ対策

年末年始、家族ぐるみでの健康管理よろしくお願いいたします

終業式（放送）でこんな話をしました

「新型コロナウイルス感染防止」

「マスク着用、消毒・手洗い、換気、ソーシャルディスタンス」

この言葉を繰り返し耳にしてきた2学期も今日で終わりです。様々な制約や制限の中で、なんとか「自分が楽しく、みんなも楽しい」2学期を実現できたでしょうか。

この状況の中でも、みなさんが、コロナ禍を吹き飛ばすような「自分が楽しく、みんなも楽しい」場面を、みなさん自身が演出してくれたと感激する瞬間瞬間が心に刻まれています。

9月の修学旅行。一泊二日、日光・那須方面と、泊数・旅行先を大幅に変更して実施しました。しかし、東照宮見学、日光江戸村、学級ごとの体験活動、那須ハイランドパーク、どこにおいても、笑顔にあふれ、自ら楽しみ、よい思い出を作ろうとする前向きな姿がありました。

MSFと翠巒祭を連日開催として行いました。MSFでは、新型コロナウイルス感染防止に配慮した新たな種目が入り入れられました。ひいき目でなく、学年を超えたクラス同士が団結し、例年以上に盛り上がった気がします。翠巒祭は、ほぼ合唱コンクールがメインで開催されました。練習環境、練習回数が不十分であったにもかかわらず、例年と遜色ない歌声を体育館いっぱい響かせてくれました。

そして、生徒会からの新たな提言もありました。「みどりんネチケット」です。今や生活と切り離すことができなくなった「ネット社会」との上手なつながり方に対する提言です。みなさん一人一人の心がけとして、深く刻まれることを期待しています。

さて、明日から冬休み。あなた方に望むことは昨年度と全く同じです。ぜひ「自分が楽しく、家族みんなも楽しい」冬休みを実現してください。そのためには、なんといっても「命」を大切にすることです。今年の冬休みに限っては、まだまだ収まる気配がない「新型コロナウイルス感染防止」です。「マスク着用、消毒・手洗い、換気、ソーシャルディスタンス、不要不急の外出自粛」家族ぐるみで実践しなければ意味がありません。いつも話している通り、みなさん自身が家族をリードするつもりで取り組んでください。

また、雪や寒さ、というよりは「新型コロナウイルス感染防止対策」として、家の中で過ごす時間がほとんどになってしまうと思います。計画的に冬休みの課題に取り組むと同時に、読書にチャレンジしてほしいのです。読書に親しむことで、ものの見方・考え方が広がり、心も豊かになります。「題名にひかれた、挿絵に興味を持った、本自体が薄いからすぐ読めそう」など、どんなきっかけでもよいのです。ぜひ読書に親しんでください。

最後の最後です。3年生の皆さん、進路目標達成に向けて、まとまった学習時間を取れるのはこの冬休みが最後です。各教科、自分がどこまでできて、どこから理解が不十分なのかを見極め、苦手教科・苦手分野の克服と、得意教科の応用力向上に努めてください。

みなさんとみなさんのご家族が、笑顔で新年を迎えられ、みんなそろって元気に新学期をスタートできることを心から願いながら2学期最後の校長先生のお話を終わります。

新型コロナウイルス関係の個別の情報等がございましたら、速やかにご連絡いただくと助かります。詳しくは、本日配付の「保健だより」をお読みください。